

室蘭市の公用車として 電気自動車を導入

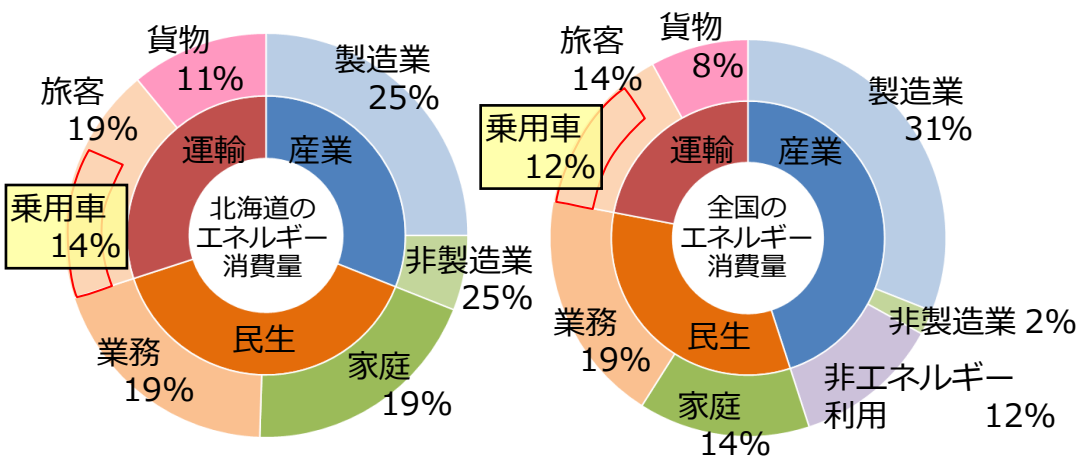


低炭素社会の実現に貢献

● 運輸部門と家庭でのエネルギー消費割合が大きい北海道

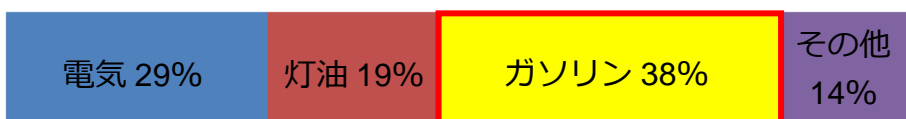
北海道では、移動距離が長く、公共交通機関の利用が少ないことなどから、運輸部門のエネルギー消費割合が全国に比べて大きくなっています。また、家庭でのエネルギー消費によって排出されるCO₂のうち、ガソリンの割合が約4割と、大きくなっています。

エネルギーの消費割合



(北海道経済産業局「北海道のエネルギー消費動向について 2007年度版」)

家庭でのエネルギーの消費割合



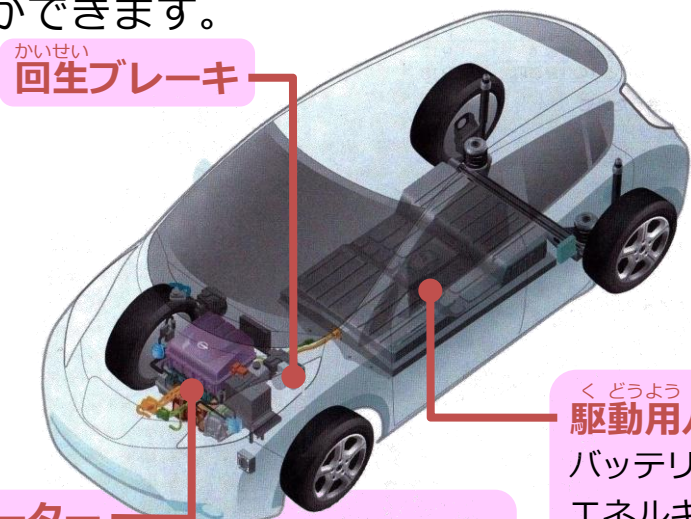
(平成25年度「エコライフ★チャレンジャー」取組結果)

● エコライフのシンボルとして 環境意識啓発に利用

室蘭市では、公用車として初めて導入した電気自動車を、通常の業務で使用することで多くの方の目にふれるようにするほか、様々な環境意識啓発に利用します。また、実際に運転することができる試乗体験会も行います。

電気自動車の仕組み

メーカーによって仕組みが異なりますが、基本的にはバッテリーに蓄えた電気で、モーターを駆動して走る自動車です。電流量をコントロールする制御装置などを装備し、概ね200km前後を走行することができます。



回生ブレーキ

モーター
排気ガスが出ないので、走行時のCO₂排出量はゼロです。
また、モーター駆動ですので、静かで快適、加速性能に優れています。

駆動用バッテリー
バッテリーは、安全性やエネルギー密度の点から多くのEVでリチウムイオン電池が使われています。